異世界メイドと1Rの主 2

The Otherworldly Maid and the One-Room Lord

R-18
ADULT ONLY

Presented by Fujiya

～前回のあらすじ～

どこにでもいる
普通のサラリーマン「平坂雄二」
の元へある日突然
異世界魔族メイド「シトリィ」
が現れる。

シトリィは元の世界に
帰ろうとするが魔力が足りず、
魔力補充するために
雄二のエッチな欲望を受け入れ、
そのまま快楽にはまっていった。

だが魔力が十分回復したシトリィは
雄二に別れを告げ帰ろうとするが、
雄二の不注意で魔法が不発に終わり、
二人きりの”１R”は
もうしばらく続くのだった…。

異世界メイドと1Rの主 2

The Otherworldly Maid and the One-Room Lord

それにしてもさ
パッ パッ パッ パッ
シトリィもずいぶん…
色々と上手になったよなぁ
ギシッ ギシッ ギシッ
びくっ
ユージ黙る…ッ
はっ
はっ
ぽちゅっ
ぽちゅっ
ぽちゅっ
ぽちゅっ
これも…姫様の所帰る…ためっ

はっ
だから
ユージのため
違う……
はっ
本当に
そうかな？
ドッ
ドッ
ドッ
ドッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ

シトリィってさ…
俺をこんなに求めるなんて——
れろっ
ふっ
れろっ
さす
んっ…
ふぅんっ
ちゅくっ
ちゅくっ
んんっ…
ふっ
ふっ
んぷっ
んぷっ
もしかして…俺のこと好きになっちゃったんじゃない？
ははは
……
それは…——

カ!!!!
うぉッ…!?
ガタ
ガタ
ビクッ
ガタ
ガタ
ネネ
ハハ
…ッ

ひめ…さま？
おぉシトリィよ!!
無事であった――
ドタ☆
か……
ガキ
ガキ
…おのれ人間
我のシトリィにナニをしておる…!!

ドッ!!!
ガッ!!!
うぐッ…!!
朽ちよ

姫様待つ!!
なんじゃシトリィよ
違う!!
ユージ…私助けてくれた恩人!!
何…!?
此奴はお主を手篭めにしてた下郎であろう?

ふぅん…
正直
すまんかったの…
いえいえ…
誤解が解けて
なによりです
こちらこそ
お見苦しい姿を
見せてしまい
すいません…
全て話は
聞かせてもらった
シトリィが世話に
なったようで
我からも感謝するぞ

ところでじゃ!!
お主の欲望を叶えると魔力が回復するとのだが!?
ぐわっ
えっ!?
ちょ……
伏して控えよ!!
我こそは魔王ヴァラクの娘にして魔導技術局局長!!
魔を使えば大地を割り智の深さは神をも凌ぐとも呼ばれた——
それこそが我…セレスであるッ!!
姫様…
研究気質……
キラ
キラ
いいいい

勇者召喚
魔法研究のせいで
シトリィ
飛ばされた…
ゴゴ
全部……
姫様の責任
のぉシトリィよ…
見ない間に我に対して
少しばかり毒が
強くなっておらぬか？
そんなことよりも
ユージとやらよ
お主のその特性を
調べたいのだが？
そんな急に
言われましても…
ぎゅっ♡
なんじゃ？
我も自らの身体には
いささかの自信が
あるのじゃが……
ぷにぷに♡

ならば…
ガッ
高貴な我の身体を好きに弄べる――
すすっ
それでは不満かの…？
くすっ…♡
ぷるんっ
ぷ
ぷ

姫様!!
それ……
シトリィがッ!!
バッ
ほぅ…
嫉妬か?
しかし
シトリィよ
我もこちらへ
来る時に魔力が
無くなって
しまってのぉ…
我も同じ要領で
魔力補給したいのだが
それでも不満か?
…しかし…
わかりました…
本当にいいんですね?
おぉよいぞ!
我に命令できるなぞ
滅多にある事ではない…
フンッ!!
何でも好きに
申してみよ!!

ニヤッ…
それなら…
ガチャッ!!
ななな…
なんじゃその
禍々しいモノはッ!?
我を拘束して何を
するつもりなんじゃ!?

これはバイブって言うセレスさんを気持ち良くさせるモノです
気持ち…ッ!? いやその物体をどう使うつもりなんじゃ!?
すっ…
とりあえず体験してみればわかりますよ…
待て待て!!
好きにしていいとは言うたが少し考え…——
ぶあっ!?
ぬぶぶぶっ

いかがわしいモノのイボイボが……
我の膣内をこすって……ッ
オボッ
オボッ
だが…この程度ならば……
ビクッ…
くっ…
さすが魔王様の娘と言われてますね…
なら…こんなのはどうでしょう？
カチッ
!?!?
ふ…ふんっ 少しは驚いたが…
この程度で我を弄ぼうとはまだまだヌルいのぉ…
はっ…
はっ…
ぴくっ
ぴくっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ

ぐちゅ
ぷるっ
ビクッ
ビクッ
ヴ
ヴ
ヴ
ヴ
ヴ
ヴ
どうやら
気に入ってもらえた
ようですね
ではコレを使って
さらなる快楽を
お届けしましょう
先程の
未知なるモノに
我の膣内を
かき回されて…
あっ
あっ
こんな…こんな快楽…
我は知らぬ……ッ!!

ま…待て!!
これ以上何をしようと言うのだ!!
いくら我でも……——
ぴとっ
ヴヴヴ
ヴヴヴ
ぐりんっ
あっ
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!

どうでしたか姫様…？
ふ～っ
ふ～っ
ふ～っ
びくっ
びくっ
盛大にイッちゃいましたけどご満足いただけましたか？
ぷしゅっ
ぷしゅっ
あ～…でも少しやり過ぎちゃったかな……
がくっ
がくっ
…あの姫様ここまで乱れる驚き……
は～っ
は～っ
は～っ
このアイテム…
快楽…そこまですごい…？

余韻に浸ってる中
申し訳ないんですけど…
ぴとっ
俺はまだ全然
気持ち良くなって
ないので続けさせて
もらいますよ
Hッッ
なんじゃお主!!
ぷちゅっ
あれだけ我を弄んで
おいてまだ足りぬと
言うのか……ッ!!
さっきまでのは
前戯……――
これからが
本番ですよッ!!

姫様ま●こ…
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
あっ…
んあっ
はっ
はっ
イッたばかりだからかキツキツでとても気持ち良いですよッ!!
ずちゅっ
ずちゅんっ
ずちゅっ
ずちゅんっ
きゅっ
きゅっ
ひあッ!!
きゃっ
ふにっ
もにゅっ
もにゅっ
気持ち…良い…?
こやつが動くたびに我も気持ち良くなっておるのか…?
ハッ…

これは……
我の知ってる
性行為とは
全然違う…ッ♥♥
おぉッ♥
おぉッ♥
もにゅっ
もにゅっ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
もっとじゃ…♡
はぁ♡
はぁっ♡
もっと我に
さらなる快楽を
よこせ…ッ♡♡

それじゃあ姫様ま●こで…
コッ
コッ
パ
俺の全てを受け取ってくださいッ!!
はぁっミ
はっミ
よいぞ…♡思う存分に射精すがよいッ♡
ビクッ
ビクッ
はっ
はっ
んやあっ
ふぁっ
はっ
はっ
がく
がく

ドスッ
ドスッ
ドスッ
ドスッ
ビクンッ!!
ビクンッ!!
ぴゅ～～っ
ぴゅるるるっ
おっ…
おぉっ…
これが…人間のセックスというもの…か…

後日
ドンッ☆
うわぁ…
こんなにたくさん……
一体どうしたんですか…？
ネットとやらで
お主の言ってた
「おもちゃ」とやらを
買ってみたんじゃ!!
シトリィから
色々教えて
もらってな――
すっ

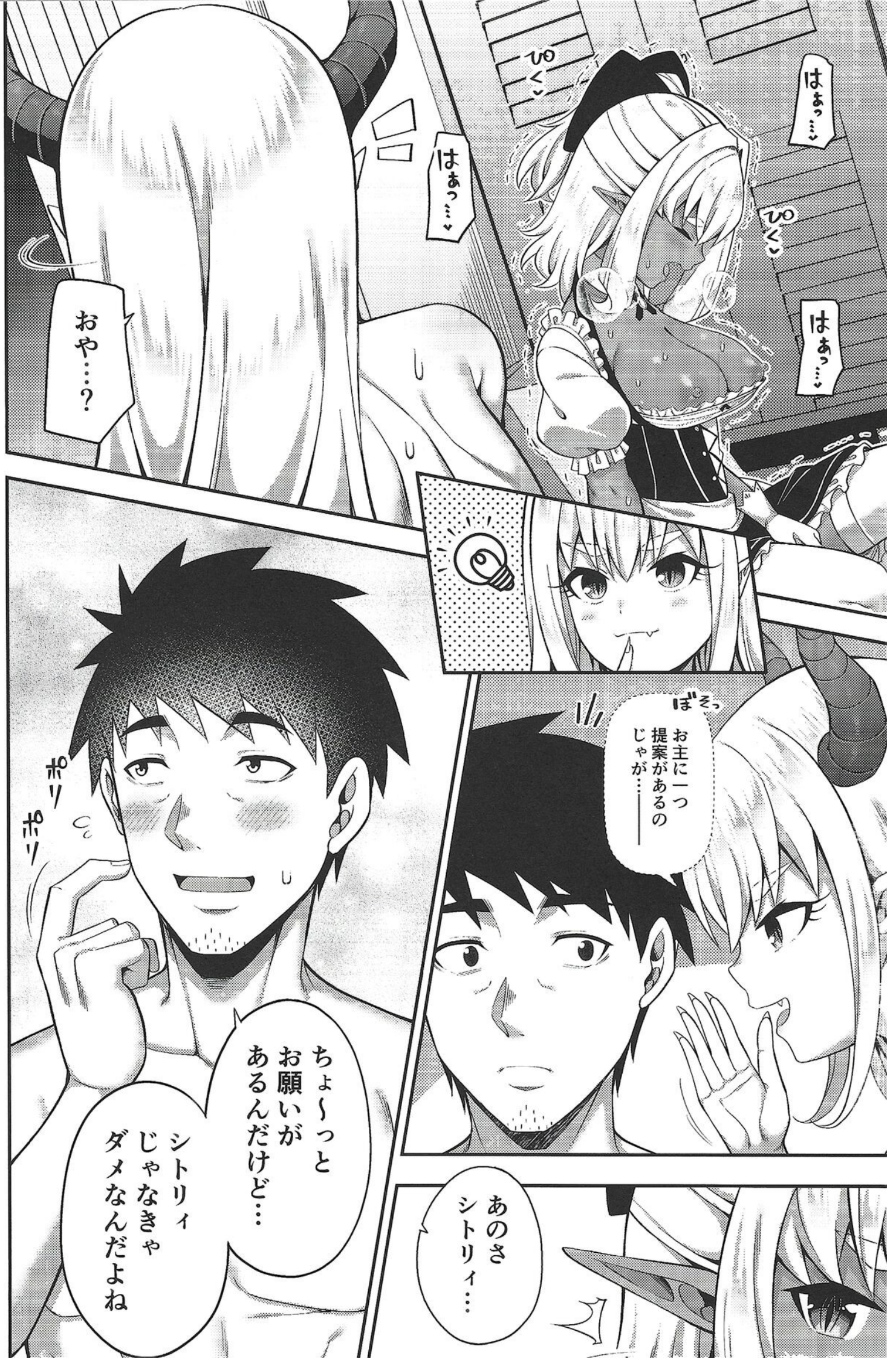
ペラ
それになな……
お主がおもちゃを使って
我を弄ぶことで
我の魔力が効率的に回復
することがわかったのじゃ!!
ペラ
なら次はどんなおもちゃで
どうすればより効率的に
魔力を回復できるか
検証せねばなるまいて……——
ペラ
ペラ
ペラ

それからというものの…
姫様いわく
魔力補給の効率化という
名目の快楽漬けの
日々が続き……

異世界のプリンセスの
身体が快楽に
沈み始めた……――――

そんな
ある日――
あっ…
あんっ
ギシッ
ギシッ
ギシッ
ギシッ
あっあっ
もじ
もじ
ほれ♡♡
どうした
ユージ…っ♡
我は
まだまだ…ッ
ちらっ…
はっ…
はっ…
コッ…ッ…
……
ごくっ

はぁっ…
びくっ
はぁっ…
びくっ
はぁっ…
ぴとっ
もにゅ
もっ
ぎゅっ
ぎゅっ
ぎゅっ
ミミミ!!!
ぐぐぐぐぐ…
フッ
フッ
コリッ
コリッ
じわぁ


はぁっ…
ぴくっ
はぁっ…
ぴくっ
はぁっ…
おや…？
ぼそっ
お主に一つ提案があるのじゃが……
ポリ
ポリ
ちょ～っとお願いがあるんだけど…
シトリィじゃなきゃダメなんだよね
あのさシトリィ…

ユージ最低…!!
シトリィと姫様二人同時許されない…ッ!!
…ユージの願い魔力回復のため…仕方ない…
まぁそう言うでないシトリィよ
むにゅっ♡

一人もよりも二人の方がな…
うぅ……
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
魔力回復の効率が良くなるかもしれぬじゃろ？
そのためにシトリィも協力するがよいぞ!!
もっ
たぷっ
たぷっ
うへへ
姫様　命令仕方ない……

それに…
シトリィも
うずいておったの
じゃろうに？
ならシトリィはさ…
ビッ!!
俺のコイツで
どうして欲しい？
……ッ
ほら……
ちゃんと声に出して
言ってごらん？
シ…シトリィは――
もっ
もにゅっ
もにゅっ
んッ…

ユージの…
欲しい……♡
はぁっ♡
はぁっ♡
ユージのち●ぽ…
シトリィのま●こ
欲しい……ッ♡♡
はぁっ♡
もちろん
我も忘れては
ならぬぞ…♡
くぱぁ♡
ひくっ
ひくっ
ほれ
ユージよ…
我とシトリィを
お主の好きに
弄ぶが良い♡♡
ひくっ
ひくっ

それじゃあ
遠慮なく……――
二人の体を
たっぷりと堪能させて
もらいますねッ!!
ユージの…
ち●ぽ…っ
やっぱり…
すごく……
イい……っ♡♡

我も…
もう……っ
あっ…あっ
このち●こ無しでは
いられぬ……ッ♡
ちゅっ
ちゅるっ
ハァ…ッ
ユージよ…
我らをさらなる
快楽へいざなうが
よいぞ……ッ♡

…そろそろ
二人に俺の欲望を
ぶちまけますね…ッ!!
あっ…
はっ
はっ
やあっ
むにゅ
むにゅ
はっ
はっ
あっ
あっ
あぁっ
んあっ
きて…
ユージ…っ
熱いの…
射精して…ッ♡
はあっ…
はあっ…
我も…っ
濃いのを……
注いでくれ…ッ♡
はあっ…

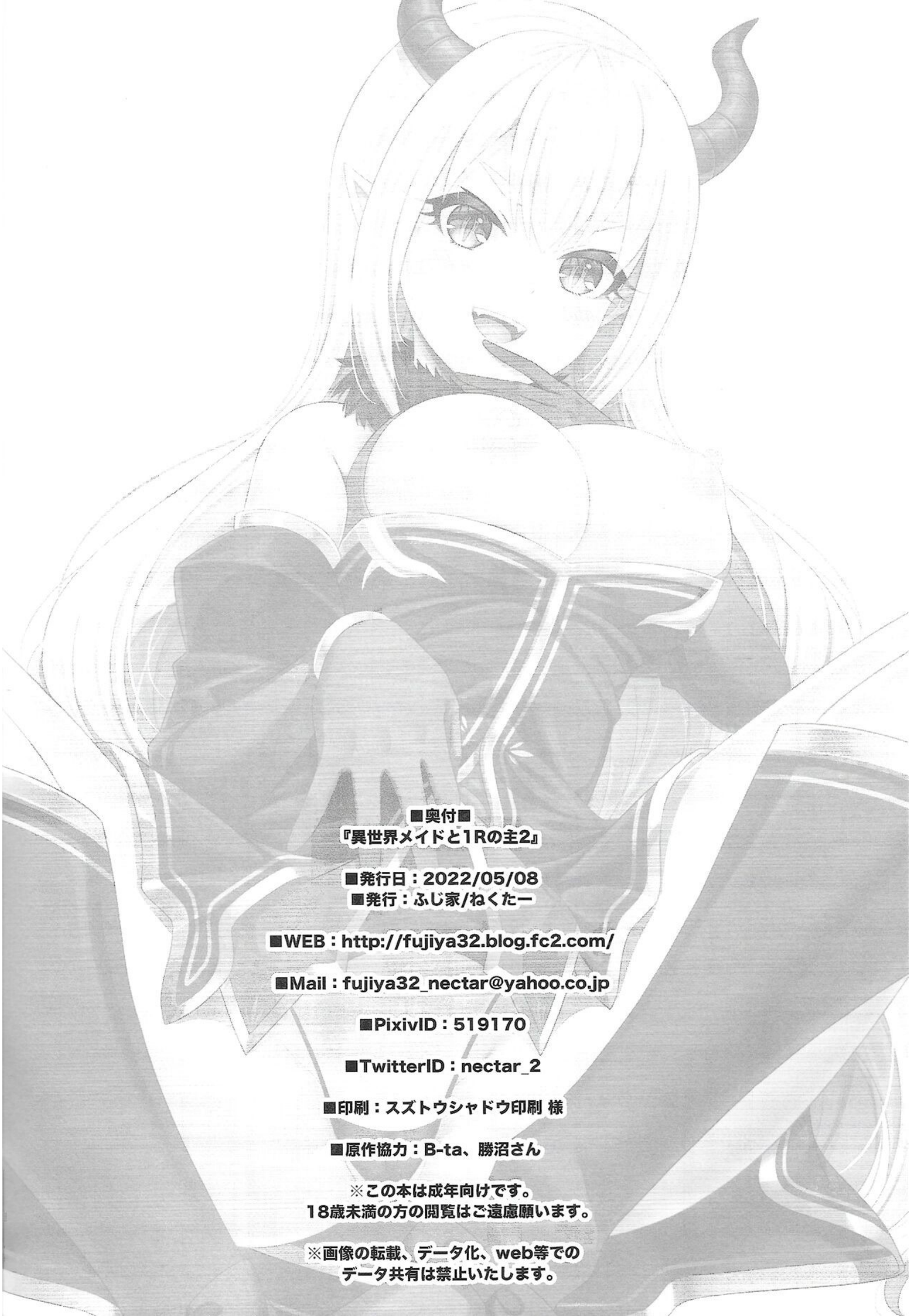
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
はぐっ
はぐっ
はぐっ
はぐっ
ひくっ
ひくっ
ひくっ
ひくっ

んん〜〜〜ッ
ふぁ〜
オォン!!
さて…ちょっと着替えでも取りに魔界へ帰るか……——
いい汗かいたのぉ〜!!
バッ
…あれ？姫様——
魔力……まだ溜まってない言ってなかった？
じ…実はの……帰れるだけの魔力は初めからあったんじゃがな…
もじ
もじ
あまりにもこっちの世界の性行為が気持ち良くて帰るのはいつでもいいかな〜〜って……

……ひめさま
ゴゴゴゴゴゴ
ウソ……ついてた？
よ…よいではないか!!
それにシトリィも熱を上げておったであろう…!?
まぁまぁ
ん!?
それとこれ話違う!!
ズモモッ
あなたお主は…ッ!?
貴方達(シトのごとき)…

異世界メイドと1Rの主 2

The Otherworldly Maid and the One-Room Lord



■奥付■
『異世界メイドと1Rの主2』

■発行日：2022/05/08
■発行：ふじ家/ねくたー

■WEB：http://fujiya32.blog.fc2.com/

■Mail：fujiya32_nectar@yahoo.co.jp

■PixivID：519170

■TwitterID：nectar_2

■印刷：スズトウシャドウ印刷 様

■原作協力：B-ta、勝沼さん

※この本は成年向けです。
18歳未満の方の閲覧はご遠慮願います。

※画像の転載、データ化、web等での
データ共有は禁止いたします。

異世界メイドと1Rの主 2

The Otherworldly Maid and the One-Room Lord

-Presented by Fujiya-

-2022 May-